

福島第一 1号機タービン建屋地下階の溜まり水の核種分析結果

(再評価)

(3月25日参考配布)

(変更理由) ※

採取場所	福島第一1号機 タービン地下溜まり水 (1回目)	福島第一1号機 タービン地下溜まり水 (1回目)	—
試料採取日	平成23年3月24日	平成23年3月24日	—
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	試料濃度 (Bq/cm ³)	—
Cl-38 (約37分)	検出限界未満	1.6 × 10 ⁶	①
As-74 (約18日)	検出限界未満	3.9 × 10 ²	①
Y-91 (約59日)	5.2 × 10 ⁴	5.2 × 10 ⁴	—
I-131 (約8日)	2.1 × 10 ⁵	2.1 × 10 ⁵	—
Cs-134 (約2年)	1.6 × 10 ⁵	1.6 × 10 ⁵	—
Cs-136 (約13日)	1.7 × 10 ⁴	1.7 × 10 ⁴	—
Cs-137 (約30年)	1.8 × 10 ⁵	1.8 × 10 ⁶	③
La-140 (約2日)	3.0 × 10 ²	3.4 × 10 ²	②

※再発防止対策に基づき、①主要ピークによる核種の同定及び放射能濃度の決定、②放射平衡を踏まえた放射能濃度の評価により再評価を実施。その他、③データの転記誤りの修正を実施。

福島第一 1号機タービン建屋地下階の溜まり水の核種分析結果

(再評価)

(3月27日参考配布)

(変更理由) ※

採取場所	福島第一1号機 タービン地下溜まり水 (2回目)	福島第一1号機 タービン地下溜まり水 (2回目)	—
試料採取日	平成23年3月26日	平成23年3月26日	—
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	試料濃度 (Bq/cm ³)	—
I-131 (約8日)	1.5×10^5	1.5×10^5	—
Cs-134 (約2年)	1.2×10^5	1.2×10^5	—
Cs-136 (約13日)	1.1×10^4	1.1×10^4	—
Cs-137 (約30年)	1.3×10^5	1.3×10^5	—

※再発防止対策に基づき、①主要ピークによる核種の同定及び放射能濃度の決定、②放射平衡を踏まえた放射能濃度の評価により再評価を実施。その他、③データの転記誤りの修正を実施。

福島第一 2号機タービン建屋地下階の溜まり水の核種分析結果

(再評価)

(3月27日公表)

(変更理由) ※

採取場所	福島第一2号機 タービン地下溜まり水 (再評価)	福島第一2号機 タービン地下溜まり水 (再評価)	—
試料採取日	平成23年3月26日	平成23年3月26日	—
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	試料濃度 (Bq/cm ³)	—
Tc-99m (約6時間)	3.0 × 10 ⁴	8.7 × 10 ⁴	②
I-131 (約8日)	1.3 × 10 ⁷	1.3 × 10 ⁷	—
Cs-134 (約2年)	2.3 × 10 ⁶	2.3 × 10 ⁶	—
Cs-136 (約13日)	2.5 × 10 ⁵	2.5 × 10 ⁵	—
Cs-137 (約30年)	2.3 × 10 ⁶	2.3 × 10 ⁶	—
Ba-140 (約13日)	4.9 × 10 ⁵	4.9 × 10 ⁵	—
La-140 (約2日)	1.9 × 10 ⁵	1.9 × 10 ⁵	—

※再発防止対策に基づき、①主要ピークによる核種の同定及び放射能濃度の決定、②放射平衡を踏まえた放射能濃度の評価により再評価を実施。その他、③データの転記誤りの修正を実施。

福島第一 2号機タービン建屋地下階の溜まり水の核種分析結果

(再評価)

(3月27日公表)

(変更理由) ※

採取場所	福島第一2号機 タービン地下溜まり水 (再測定)	福島第一2号機 タービン地下溜まり水 (再測定)	—
試料採取日	平成23年3月26日	平成23年3月26日	—
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	試料濃度 (Bq/cm ³)	—
Tc-99m (約6時間)	2.5×10^4	4.8×10^5	②
I-131 (約8日)	1.3×10^7	1.3×10^7	—
Cs-134 (約2年)	2.2×10^6	2.2×10^6	—
Cs-136 (約13日)	2.5×10^5	2.5×10^5	—
Cs-137 (約30年)	2.2×10^6	2.2×10^6	—
Ba-140 (約13日)	4.9×10^5	4.9×10^5	—
La-140 (約2日)	1.8×10^5	1.8×10^5	—

※再発防止対策に基づき、①主要ピークによる核種の同定及び放射能濃度の決定、②放射平衡を踏まえた放射能濃度の評価により再評価を実施。その他、③データの転記誤りの修正を実施。

福島第一 2号機タービン建屋地下階の溜まり水の核種分析結果

(再評価)

(3月27日公表)

(変更理由) ※

採取場所	福島第一2号機 タービン地下溜まり水 (再採取)	福島第一2号機 タービン地下溜まり水 (再採取)	—
試料採取日	平成23年3月27日	平成23年3月27日	—
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	試料濃度 (Bq/cm ³)	—
I-131 (約8日)	1.3×10^7	1.3×10^7	—
Cs-134 (約2年)	3.1×10^6	3.1×10^6	—
Cs-136 (約13日)	3.2×10^5	3.2×10^5	—
Cs-137 (約30年)	3.0×10^6	3.0×10^6	—
Ba-140 (約13日)	6.8×10^5	6.8×10^5	—
La-140 (約2日)	3.4×10^5	3.4×10^5	—

※再発防止対策に基づき、①主要ピークによる核種の同定及び放射能濃度の決定、②放射平衡を踏まえた放射能濃度の評価により再評価を実施。その他、③データの転記誤りの修正を実施。

福島第一 3号機タービン建屋地下階の溜まり水の核種分析結果

(再評価)

(3月25日公表)

(変更理由) ※

採取場所	福島第一3号機 タービン地下溜まり水	福島第一3号機 タービン地下溜まり水	—
試料採取日	平成23年3月24日	平成23年3月24日	—
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	試料濃度 (Bq/cm ³)	—
Co-60 (約5年)	検出限界未満	約7.0×10 ²	①
Tc-99m (約6時間)	2.0×10 ³	約2.5×10 ³	②
I-131 (約8日)	1.2×10 ⁶	約1.2×10 ⁶	—
Cs-134 (約2年)	1.8×10 ⁵	約1.8×10 ⁵	—
Cs-136 (約13日)	2.3×10 ⁴	約2.3×10 ⁴	—
Cs-137 (約30年)	1.8×10 ⁵	約1.8×10 ⁵	—
Ba-140 (約13日)	5.2×10 ⁴	約5.2×10 ⁴	—
La-140 (約2日)	9.1×10 ³	約9.4×10 ³	①
Ce-144 (約284日)	検出限界未満	約2.2×10 ⁶	①

※再発防止対策に基づき、①主要ピークによる核種の同定及び放射能濃度の決定、②放射平衡を踏まえた放射能濃度の評価により再評価を実施。その他、③データの転記誤りの修正を実施。

※試料濃度の「約」は記載の整合の観点から削除。

福島第一 3号機タービン建屋地下階の溜まり水の核種分析結果

(再評価)

(3月27日参考配布)

(変更理由) ※

採取場所	福島第一3号機 タービン地下溜まり水 (2回目)	福島第一3号機 タービン地下溜まり水 (2回目)	—
試料採取日	平成23年3月26日	平成23年3月26日	—
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	試料濃度 (Bq/cm ³)	—
Co-60 (約5年)	検出限界未満	2.7×10^2	①
Tc-99m (約6時間)	6.8×10^2	2.2×10^3	②
I-131 (約8日)	3.2×10^5	3.2×10^5	—
Cs-134 (約2年)	5.5×10^4	5.5×10^4	—
Cs-136 (約13日)	6.5×10^3	6.5×10^3	—
Cs-137 (約30年)	5.6×10^4	5.6×10^4	—
Ba-140 (約13日)	1.9×10^4	1.9×10^4	—
La-140 (約2日)	3.1×10^3	3.1×10^3	—

※再発防止対策に基づき、①主要ピークによる核種の同定及び放射能濃度の決定、②放射平衡を踏まえた放射能濃度の評価により再評価を実施。その他、③データの転記誤りの修正を実施。

福島第一 4号機タービン建屋地下階の溜まり水の核種分析結果

(再評価)

(3月27日参考配布)

(変更理由) ※

採取場所	福島第一4号機 タービン地下溜まり水	福島第一4号機 タービン地下溜まり水	—
試料採取日	平成23年3月24日	平成23年3月24日	—
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	試料濃度 (Bq/cm ³)	—
Co-58 (約71日)	検出限界未満	2.7×10^{-1}	①
Mo-99 (約66時間)	1.0×10^0	1.0×10^0	—
Tc-99m (約6時間)	6.5×10^{-1}	6.5×10^{-1}	—
Ru-106 (約370日)	検出限界未満	3.3×10^0	①
Te-129 (約70分)	検出限界未満	2.6×10^1	②
Te-129m (約34日)	1.3×10^1	1.3×10^1	—
I-131 (約8日)	3.6×10^2	3.6×10^2	—
I-132 (約2時間)	1.3×10^1	1.3×10^1	—
Te-132 (約3日)	1.4×10^1	1.4×10^1	—
Cs-134 (約2年)	3.1×10^1	3.1×10^1	—
Cs-136 (約13日)	3.7×10^0	3.7×10^0	—
Cs-137 (約30年)	3.2×10^1	3.2×10^1	—
La-140 (約2日)	4.1×10^{-1}	7.4×10^{-1}	①, ②

※再発防止対策に基づき、①主要ピークによる核種の同定及び放射能濃度の決定、②放射平衡を踏まえた放射能濃度の評価により再評価を実施。その他、③データの転記誤りの修正を実施。